



下之巻



上之巻

弘化四丁未歳
新春發兌

一筆庵主人作
一陽齋墨園画





一筆庵主人作
一陽齋豊園画

弘化四丁未歳
新春發兌

新化四丁未歳

上巻



弘化四丁未春
蕪市

東の由縁

上冊

一筆庵主人作

初編二冊

一筆庵主人作



一

晋書曰王濟ハ馬ハ乘の癖あり和嶠ハ錢と弄ぶの癖あり杜預ハ左傳
 と讀の癖あり王福時ハ兒を養ふ癖あり黃魯直ハ香を好む癖あり李
 涉ハ竹を愛する癖ありと見えう素癖ハ嗜好の病あり人毎ハひと
 つら癖ありるものぞ我ハあつては道と慈鎮も歌道と好の癖をみつゝ歌
 ありまれば然れば上戸ハ酒の癖下戸ハ餅の癖あれども癖の中ハ亦一癖の種々
 あり不佞従来画の癖あり常ハ嬾隨癖あり出來ぬ戲作とまぢける癖あり
 て其癖欲心なり錢を欲がる癖あり酒ハ醉よる癖あり甘味
 のを喰ひ飽食癖あり夫のとるべきの世話とや癖ありて年中損せざる
 癖あり倦る癖の冠る者馬ありまゝくつせん爰ハ仙鶴堂ハ高賣と勵
 癖あり予ガ癖を知て戲作を需紫媛ガ由縁の傳と鄙の賤姿あり幼
 兒ハ勸善懲惡の教諭とるまゝ一端とて是ハ世話の癖ありや

弘化未の新春

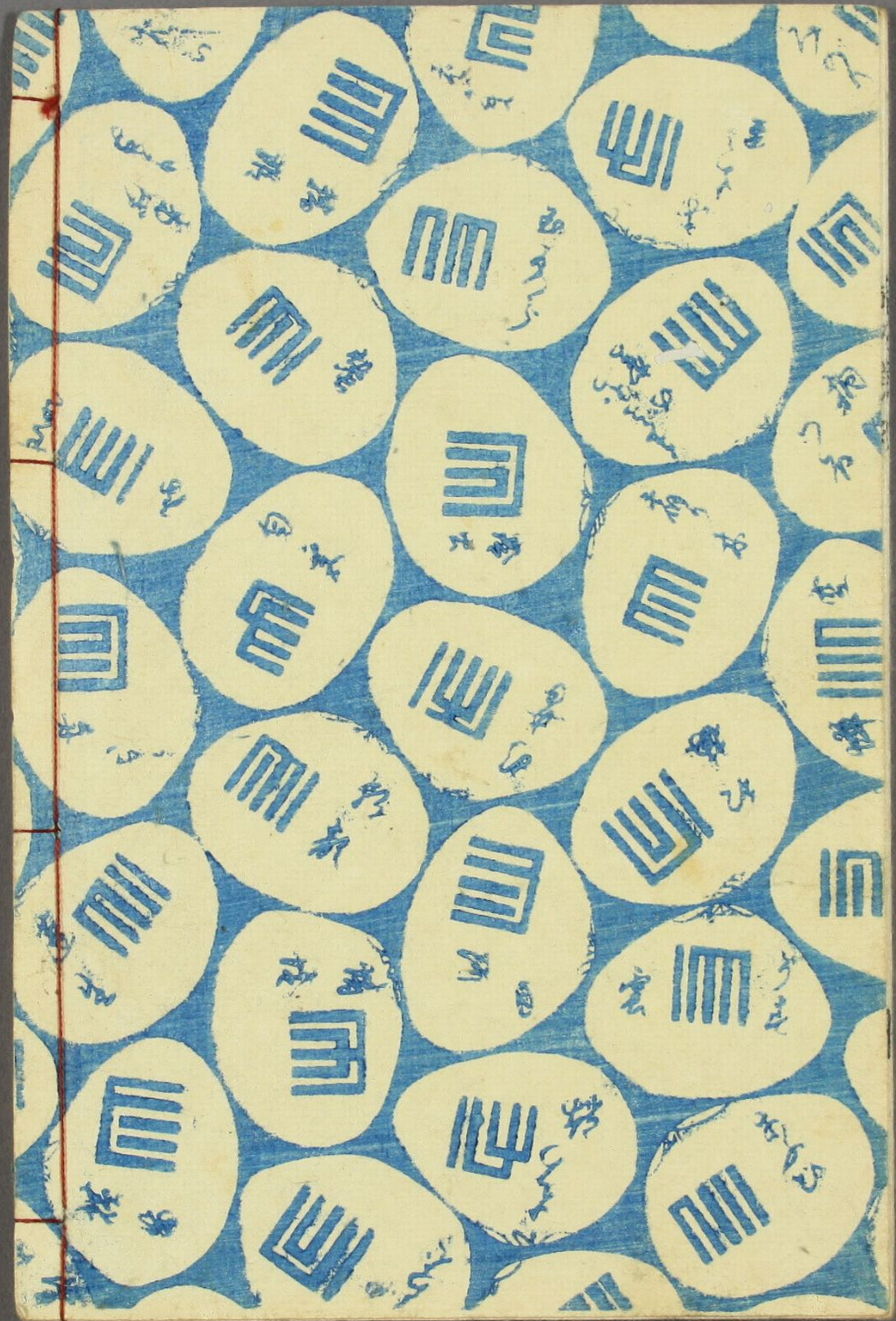
一筆菴主人誌

邪の弟切



瀧 卷絹
弟の
弥太







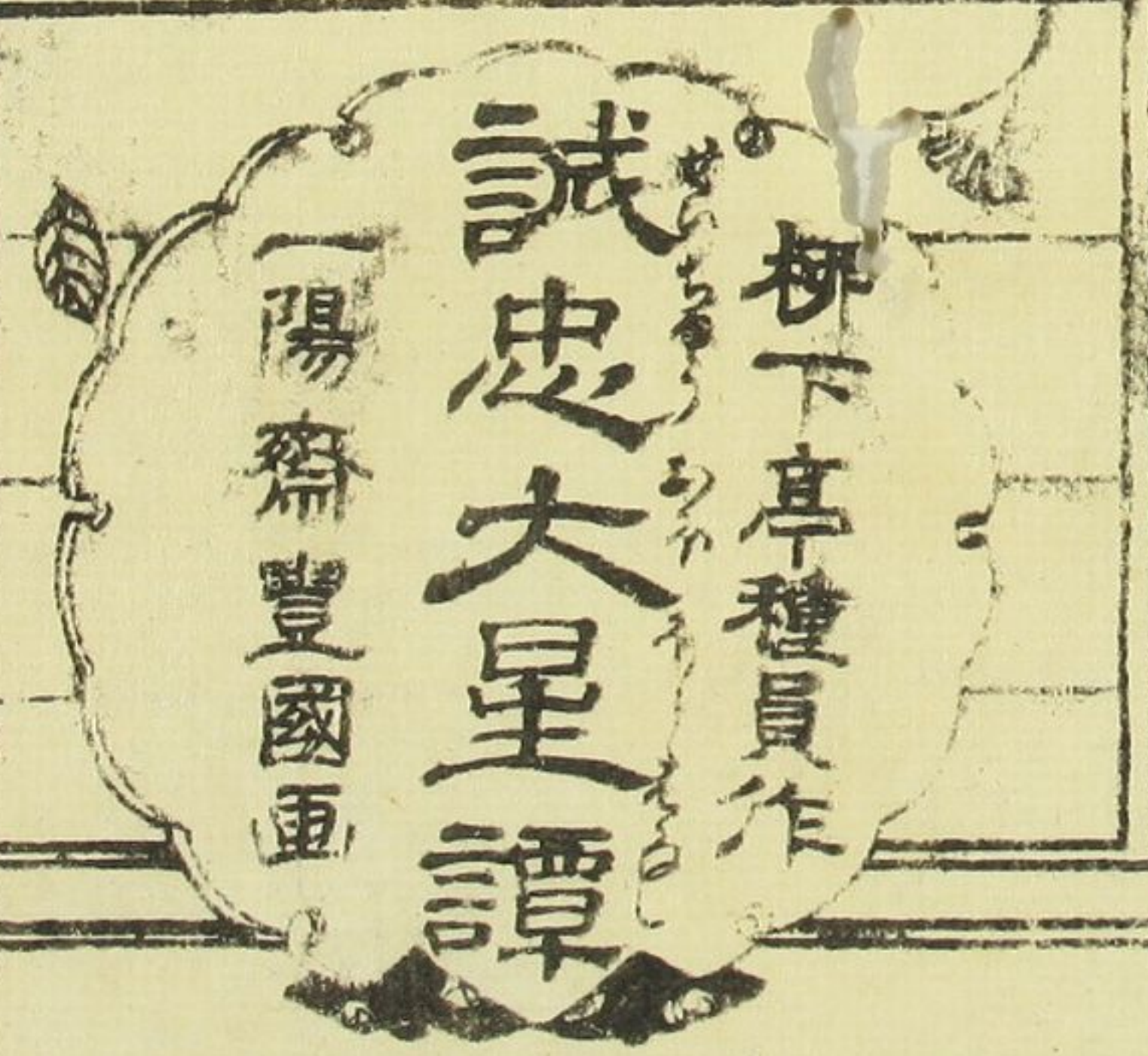
下巻

5 6 7 8 9 60 1 2 3 4 5 6 7 8 9 70 1 2 3 4 5

錦昇堂藏板新鐫目録

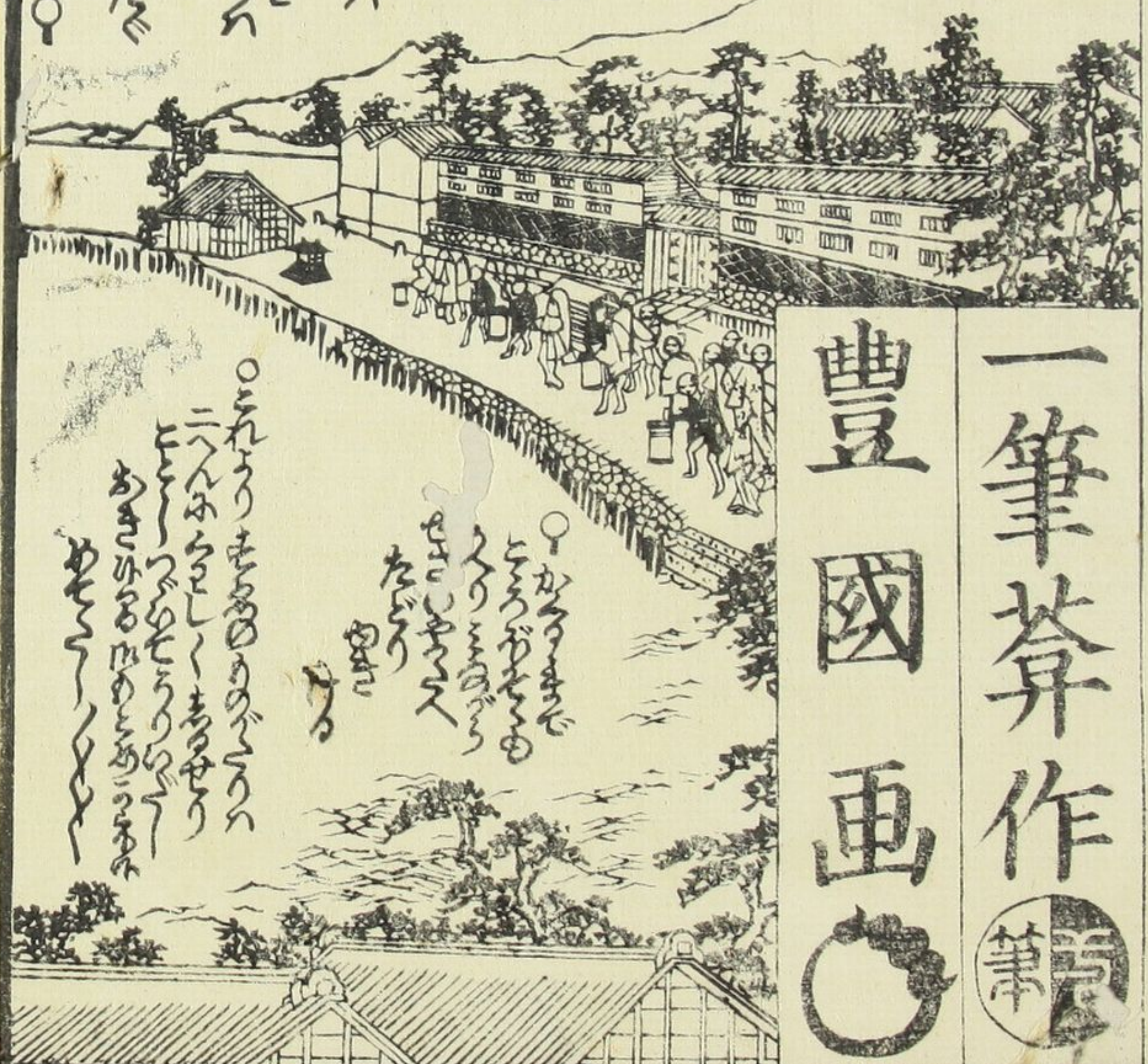
稻妻形怪鼠標子

西馬
國画



地百錦繪同屋よりあつてあはれあはれ

ついでに...
 一筆算作
 豊國画



一筆算作
 豊國画

